

愛知大学入学試験 出題意図

試験日	2026年2月6日
入試種別	一般入試
科目	国語

大問〔一〕

現代文の随筆（エッセイ）を扱った問題です。自分の中にある感覚を信じて生きることと、周囲の目を気にしすぎる態度の危うさについて、筆者が感じたことを書いています。文章自体は平易ですが、「自分」と「社会」との関わりについて、どのような態度をとるべきだと書かれているか、それを正確に理解させることを狙いとしました。また、文脈にふさわしい語や漢字を問うことにより、基礎的な学力をはかる問題も設けています。

大問〔二〕

現代文の論理的文章を扱う問題です。才能という概念の多様性を整理し、努力との関係を論じた箇所を出題しました。文章は平易ですが、文脈に即して複数の意味を正確に理解できるかを問いました。語彙・漢字・語義・理由、空欄補充や内容一致問題を通じて論理構造を追い、抽象概念や因果関係、筆者の考えを根拠に基づいて吟味する読解力を重視しました。

大問〔三〕

古文に関する問題です。基本的な語彙や文法事項が理解できているかという点に加え、説話の文章を前後の筋を追いながら読み解くことができるかを問う設問にしています。具体的には、孔子の言葉をもとに、父母や知人友人と接する際に、どのようにすれば良い関係が保てるのかについて、前後の記述と矛盾しないように、正解を導く力が必要です。

大問〔四〕

漢文の問題です。漢文の句法と漢字に関する基礎的な知識、物語形式の文章を読解する能力、これらを測る問題を出題しています。問題文は絵画の題材にも取り上げられる話で、人々の心を捉える魅力があります。問題を解く際には句法や漢字を正しく理解するだけでなく、登場人物の心情を的確に読み取ることが必要です。

本件に関するご質問・お問い合わせにつきましては、個別での回答はいたしかねます。